

北里大学理学部同窓会報

2023年 第26号



理学部 S号館

● CONTENTS ●

会長挨拶……………	P 2	活躍する同窓生……………	P 9
学部長挨拶……………	P 3	第59回北里大学同窓会公開講演会について……………	P 9
教授就任のご挨拶……………	P 4	理学部事務だより……………	P 10
2022年度理学部同窓会定期総会報告……………	P 5	就職センター／同窓会からのお知らせとお願い……………	P 11
理学部教職員との懇談会 開催報告 ……………	P 8		

理学部同窓会ホームページ：
<https://kitasato-rigaku-d.jp> または <https://北里大学理学部同窓会.jp>



「会長就任から一年余が経過して」

理学部同窓会長 甲斐 恒人
(HC20)

会員の皆さまには、大過なくお過ごしのことと拝察申し上げます。

まず、昨年度を振り返ってみますと母校北里大学においては、学位記授与式および入学式が新型コロナウイルス感染防止の観点を考慮しつつ一定の条件のもとに開催されました。また、講義や実験、実習もおおむね順調に実施できたものと仄聞しております。

一方、本会につきましては、活動の基軸となる理事会は、感染状況を鑑みながら開催の有無や形式を判断し、結果、予定しておりました全5回において感染防止対策を講じながらすべて対面式で開催することができました。役員諸氏には運営方法や諸事業への対応を真摯に討議いただいたことで、一部の事業を除いておおむね計画どおりに会務を遂行できたと考えております。この場をお借りし、役員諸氏の平素の尽力に感謝申し上げる次第です。

なお、昨年度の定期総会において会員の皆さまからご意見をいただきましたが、それぞれの課題について5つの小委員会を設置して検討を行い、一定の方向性が得ることができました。

この取り組みが各理事のブラッシュアップにつながり、さらには本会の活動の原動力へと変化することを期待しております。

さて、2022年度の本会事業計画に目を向けてみますと、定期総会におきましてご承認を賜りました10案件のすべてを今年度こそは実行できたらと強く感じておるところですが、それにはウィズコロナを見据えていかななくてはなりません。

とりわけ困難を呈しておりますのが事業計画

「2. 学部教職員との懇談会の開催」です。計画では7月実施予定となっておりますが、第7波の襲来に伴いすでに実施時期の遅延が生じております。

通常期なら感染状況からみて中止とすることが適正であり妥当かと思いますが、延期としているのは、去る6月に学部長選が行われ、合わせて各学科長も新たに選任されたことで、是非とも当該懇談会を開催したく考えているからです。

学部長 川崎健夫教授
物理学科長 岡 寿樹教授
化学科長 弓削秀隆教授
生物科学長 木村 透教授

懇談会は学部や学科から本会への要望やご意見を賜り、合わせて先生方に本会のことを知っていただくことで相互理解を高めるとも有益な機会であり、本会の目的および原動力に他なりません。

また、多年にわたり学生および大学院生に対し実施してきた学部との共催による「就職ガイダンス」は種々様々な理由により今年度から姿が消え本会と学生とのコミュニケーションとの場面が消滅したことは時代の趨勢とはいえ少し寂しいことは否めません。

しかし、これもまた、新たなことの始まりであり、このこと一つとっても先生方との懇談の重要性は明らかだと考えています。

私たち新執行部は、就任から一年余が経過したもののまだまだ未熟ではありますが、会員の皆さまにとって存在感のある理学部同窓会を目指して一歩ずつ着実に努力してまいりますので、会員の皆さまには温かい目でご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2023年度 年会費納入のお願い

本会活動のより活発な活動の為に
2023年度会費の納入をお願いします。

年会費：3,000円

納入方法：

- 1) 他の金融機関から「ゆうちょ銀行」に振り込む場合：
 - 銀行名 ゆうちょ銀行 ■ 金融機関コード 9900
 - 店番 029 ■ 預金種目 当座
 - 店名 ○二九店（ゼロニキュウ店） ■ 口座番号 0060155
- 2) 郵便振替の場合：
 - 口座番号：00260-9-60155 ■ 加入者番号：北里大学理学部同窓会

★お知らせ★

本会会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。



「学部長就任のご挨拶」

理学部長・理学研究科長 川崎 健夫

本年度7月より理学部長・理学研究科長を拝命致しました。前任の真崎先生より学部の運営という重要な職務を引き継ぐこととなりまして日々重責を感じております。不慣れなことも多く、周囲の皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、在任中は精一杯務めさせていただきたいと思っております。

これまで理学部は「基礎科学研究を通じた人材の育成」を目的として教育と研究に取り組んできました。多くの方々のご尽力により築かれた学部の体制を維持し、またこれまで以上に発展させていくよう努めてまいりたいと思っております。

人材育成の成果は、就職や進学といった卒業後の進路に直結しますが、近年は学生の志望や社会状況も変わってきました。例えば、SE・プログラマーといった職種には、これまで物理学科を中心に多くの理学部卒業生が就職してきました。その割合は減ってはいませんが、近年SEはあらゆる学部・学科から、そして文系からも多く採用されるようになりました。その職務内容は多岐に渡りますが、理系出身だからというだけでSEとして採用されるような状況ではなくなったということです。これからの理学部出身者は専門分野のみでなく、 $+a$ の能力を持つ必要があります。それは専門分野や数学的能力の修得に基づいた論理的思考や実践的な問題解決能力ではないでしょうか。入学生の要望も多様になりました。大学では、単に卒業資格を得るためではなく、学ぶ意味と目的を問いただすべきです。そのため入試制度と教育カリキュラムは常に見直していくことが重要だと考えます。

さて、高い研究レベルがあってこそその人材育成・教育です。企業が新卒採用者に十分な教育訓練を行えるとは限らない社会状況において、大学院や卒業研究を通じた教育は、ますます重要となります。理学部における研究アクティビティを発展させるため、教員の皆さんが研究者として十分に活躍できるようサポートしていきたいと思いま

す。とはいえ、予算や設備のリソースには限界があります。個々の教員は高い研究能力を持っています。組織の効率化や協力可能な研究を繋ぐようなサポートをしていきたいと思っております。

理学部は創立より28年になります。建設時は画期的なデザインであった理学部校舎もいろいろなところにガタが来ています。建物寿命を50年として、ちょうど折り返しの時期といえます。大型研究機器も故障や性能低下の問題が否めません。今後相模原キャンパスでは、複数学部の校舎に加え新図書館の建設も始まります。財政的に厳しい状況が続きますが、ここでしっかりとメンテナンスをして、次の二十数年に備えたいと思っております。無駄を省き節約しつつも、安全や教育に不可欠な改修や設備更新は怠らないようにします。

最後に、学部の近況を少しお知らせしたいと思っております。この3年間、コロナ禍による影響は甚大です。ほとんどの講義や実習は対面で実施できるようになりましたが、以前のままではありません。一部オンライン開講の講義もあります。実験・実習では少人数グループ分けが必要で、効率の悪さが否めません。学業以外では、本学の特色であり学生と教員の距離を縮めることに役立ってきた懇話会が、これまでのようなやり方ではできなくなりました。マスク着用を含め、なかなか学生さんの顔が見られなくなりました。大学は学業における知識や能力の習得だけでなく、友人や教員との対人関係を含め、自身の価値観を養成する重要な場です。相互にコミュニケーションをとり、有益な学生生活を送れるような工夫を検討していきます。理学部学生には、入学してよかった、卒業できてよかったと思ってもらいたいと考えます。

検討しなければならない課題は他にもいろいろありますが、同窓会の皆様には、本学学生の人生の先輩として、今後ともご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。



教授就任のご挨拶～北里大学理学部への思い

生物科学科免疫学講座教授 江島 耕二

この度、片桐晃子先生の後任として理学部生物科学科免疫学講座教授を拜命いたしました江島耕二と申します。着任にあたりまして同窓会会員の皆様に、自己紹介かたがた、ご挨拶申し上げます。

私は福岡県の出身で、実家は菅原道真公が祀られ「学問の神」として知られる太宰府天満宮の近くにあります。東京大学農芸化学科を卒業後、大学院へ進学しまして、そこでの学位論文研究が私の基礎免疫学研究の開始ということになります。学位取得後、米国Yale大学でポスドク研究を行っていましたが、その間に学位論文研究の際にご指導いただきました篠原信賢先生が北里大学医学部免疫学単位に主任教授として就任され、私もそこに助手として呼んでいただきました。以降、この4月に理学部に移籍させていただくまで20年余、私は医学部で教育と研究に携わってまいりました。

私が研究対象としてきましたリンパ球は、未知の病原体、まだ見たこともない敵にも対応すべく進化してきた細胞です。リンパ球は表面に抗原受容体を持ち、それを用いて抗原を認識しますが、個々のリンパ球はそれぞれ異なる形の受容体を発現しています。ヒトの体内には数千億～数兆という数のリンパ球が存在し、計算上ではその1つ1つに異なる特異性の受容体を発現させられる仕組みを持っています。そのような膨大な「多様性」を備えることで、たとえどのような外敵が侵入しても通常一部の細胞がその抗原を認識することができ、たまたま反応できたその一部のリンパ球がその病原体の排除にあたる、というのがリンパ球の基本戦略です。そのためリンパ球では一生抗原に出会わないという細胞が多くを占めるということになりますが、この“無駄を承知”で作られたこのシステムによって事実上どのような病原体にも対応することが出来ます。私はこのリンパ球の仕組みを考える際、これが理学研究にも当てはまるような気がするがあります。

科学研究は「どのようなことに役に立つか」が一つの価値のように言われることがあります。私が申し上げるまでもなく、適用目的がはっきりした応用研究と異なり、理学研究・真理追求では「役に立つ」というより研究者の「知りたい」という気持ちが研究の基本的な原動力となります。我々の体内に待機している膨大な数のリンパ球がその多様性をもって未知の病原体に対処するように、個々の研究者が純粋に個々の興味に従って行うことで作られる多様性が、将来発生しうる様々な未知の問題を解決する糸口となってきたようにも思われます。リンパ球の場合、その中のどの細胞が抗原に反応し、その排除に役に立つかは、抗原が入ってくるまでわかりません。その意味ですべての細胞は等価であると言えます。学問が「役に立つ」ものであるべきかどうかの議論は横においても、研究者各々の興味に従って研究を進めることにより研究の多様性を維持することが学問の幹を太くする上でも大変重要なように思われます。これも私が申し上げるのも僭越ではありますが、実学の重要性を説いた北里柴三郎博士を学祖と仰ぐ北里大学において理学部が特別な位置を占めるのはそのような理由でしょうか。

免疫学者にとって、「抗体」の発見者であり、近代医学の父と言われる北里柴三郎博士の名を冠する北里大学で免疫学の研究を行うことができるのは特別の感慨があります。私は先に述べました通り農学部出身で卒業後は長く医学部にいましたので、実学の重要性や醍醐味は体感しておりますが、その一方で特に理学部の免疫学講座において教育を行い、理学部の学生と研究を進めていけることは大変大きな喜びです。今後北里大学理学部に入学してくる学生たちに北里博士や多くの先達により作られたこの流れの意味を伝えながら、精進してまいりたいと考えております。同窓会会員の皆様には今後ともご指導ご鞭撻賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

2022年度理学部同窓会定期総会報告

2022年度北里大学理学部同窓会定期総会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じることで対面参加も可能になり、Zoom によるオンライン方式・書面審議・議長委任と合わせたハイブリッド開催となりました。以下に、当該定期総会の概要を示します。

1 開催日時・場所

- (1) 日時：2022年5月21日（土）13：00
- (2) 場所：相模原キャンパス L1号館3F 31講義室

2 形式

- (A) 対面方式
- (B) オンライン方式（Zoomによる参加）
- (C) 書面審議方式
- (D) 議長に表決委任

3 出欠者

(1) 出席者85名

長原勝彦（HC1）、坂口洋（HC2）、竹澤美男（HC4）、中野勝雄（HC5）、小沼和久（HC6）、石原裕三（HC7）、麻生綱男（HC8）、石川一郎（HC9）、石水和田夫（HC10）、國香清（HC11）、蓮沼良一（HC11）、氏家重夫（HC12）、島崎道広（HC12）、藤本玲子（HC12）、衣川佳美（HC13）、雨宮純子（HC14）、内田宏（HC14）、森孝之（HC14）、伏見尚登（HC16）、須貝昭彦（HC18）、田所順一（HC19）、八井田文子（HC19）、甲斐恒人（HC20）、鈴木芳弘（HC21）、小泉博之（HC22）、山下宣行（HC23）、椎名文乃（HC24）、小笠原正勝（HC25）、長谷部浩司（HC27）、伊藤昌史（HB1）、木村武俊（HB1）、佐藤康之（HC28）、千葉貴子（HC28）、坂内健志（HB2）、渡辺知広（HC30）、矢口晶（HB4）、秋本護（HB4）、前川敏郎（HB4）、福山勝也（HC31）、村上裕章（HC31）、篠川裕子（HB5）、石原稔（HC32）、桑原美保子（SP1）、酒井利奈（SP1）、中條総子（SC1）、吉瀬晴子（SB1）、中野章代（SC3）、藤井祐介（SC4）、吉本真紀子（SB4）、田村啓（SB4）、田辺由美子（SC5）、三浦慎一郎（SB5）、東海林周平（SC6）、佐々木千明（SB6）、千ヶ崎裕介（SC7）、吉野成嗣（SB7）、松本俊英（SP8）、田草川英昇（SP9）、前田晴紀（SC9）、江澤絵真（SB9）、今村敦（SP10）、菅谷大地（SB10）、齋藤昂良（SB10）、曾根靖人（SC11）、奥田悠介（SP12）、高嵩美文（SP13）、厚木将志（SC13）、上村和豊（SB13）、神田章宏（SC14）、杉本愛（SP15）、千葉慧（SB15）、藤川圭太（SB16）、長谷川祐紀（SP17）、山神廉弥（SP18）、沖山悠太（SC19）、吉成英里佳（SC20）、立石智美（SC21）、酒井皓平（SB21）、霜田れもん（SB22）、加藤弘規（SP23）、小寺穂乃花（SB23）、野原歩（SB24）、須藤愛莉咲（SP25）、牧野健太郎（SC25）、太田昌美（SB25）

(2) 欠席者50名

(3) オブザーバー

名誉会長 沼上 清彦（HC6）

4 開会の辞

司会の松本俊英理事（SP8）から、総会の成立要件は、規約第15条第1項第2号により、「総会の成立は構成員の3分の1以上の出席を必要とする。」と規定されており、今回は、構成員135名に対して、85名の出席（対面26名、オンライン8名、書面審議19名、議長委任32名）があり、本会は成立することが報告され、開会が宣言された。

5 議長団の選出

松本俊英理事から議長団（正副議長および議事録署名人）の選出に関して説明が行われ、以下の議長団が提案され、全会一致で選任された。

議長：沖山悠太代議員（SC19）

副議長：前川敏郎理事（HB4）

議事録署名人：蓮沼良一副会長（HC11）、
桑原美保子代議員（SP1）

6 会長挨拶

甲斐恒人会長（HC20）から、日頃の同窓会活動への理解と協力に対して、出席者への感謝の意が述べられた。また、コロナ禍における同窓会活動状況および理事会の方向性について説明があった。今回、参加者に贈呈された森孝之理事（HC14）監修の書籍について、その趣旨が述べられた。

7 報告及び決議事項

【報告事項】

以下の2021年度事業報告、2021年度収支決算報告および2021年度監査報告が提示され、全会一致で承認された。

(1) 2021年度事業報告

1) 会報の発行

同窓会報第25号（通算51号）を2022年1月31日（月）に6,700部を発行した。

2) 会員集会への援助

集会援助については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮したためと考えられるが、申請はなかった。

3) ホームページの運用

以下の項目などをホームページで適宜更新した。

(1) 2021年度定期総会（要旨・予算・決算）の報告

(2) 2021年度本会会務予定を掲載

(3) 2021年度年会費納入のお知らせ

(4) 2021年度就職ガイダンスの開催（理学部と共催）の報告

(5) 同窓会報第25号（通算51号）を掲載

4) 会員情報の管理

5) 第27回就職ガイダンスの開催 (2021年度理学部就職ガイダンスの共催)

2021年10月27日(水)、IPE棟IPEホールに於いて理学部との共催により、第27回就職ガイダンスを開催した。同時にYouTubeライブで配信した。内容は、就職支援講演、集団模擬面接、質疑応答(教職課程を含む)とした。

6) 理学部若手教員学術集会(理学部の若手教員主催の勉強会「若手Lab」)への支援

7) 第16回「卒業研究功労賞」の表彰

8) 準会員事業への協力(卒業記念パーティー)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

9) 退任教授への花束贈呈

2022年3月25日(金)に開催された生物科学科免疫学講座、片桐晃子教授の退任記念講演会に出席し、本会から花束を贈呈した。

(2) 2021年度収支決算報告

自2021年4月1日 至2022年3月31日

収入の部

(単位:円)

費目	①予算	②決算	増減(②-①)
学部還元金	5,032,000	5,032,000	0
年会費	300,000	350,000	50,000
会報送料補助	437,000	437,000	0
利子	1,000	194	△806
前年度事業資金	0	0	0
雑収入	0	13,000	13,000
積立金戻入	0	0	0
前年度繰越金	1,985,671	1,985,671	0
合計	7,755,671	7,817,865	62,194

支出の部

(単位:円)

分類	大項目	中項目	①予算	②決算	増減(②-①)	
運営費	会議費	総会費		238,861		
		理事会費	1,650,000	422,833	823,575	△826,425
		委員会費		161,881		
	事務局費	事務人件費	事務人件費	1,730,000	1,225,759	1,540,962
通信費				34,025		
物件費				278,185		
雑費				2,993		
渉外費	慶弔費	慶弔費	300,000	0	46,310	△253,690
		交際費		46,310		
事業費	集会援助費		200,000	0	0	△200,000
	会報発行		1,350,000	1,231,731	1,231,731	△118,269
	就職ガイダンス		740,000	387,673	387,673	△352,327
	教職員との懇談会		250,000	0	0	△250,000
	講演会協力費		100,000	16,420	16,420	△83,580
	学術集会補助		50,000	50,000	50,000	0
	卒業研究功労賞		120,000	120,000	120,000	0
	ホームページ		60,000	35,192	35,192	△24,808
	準会員支援		150,000	0	0	△150,000
	積立金		900,000	900,000	900,000	0
次年度用事業資金		0	0	0	0	
予備費		155,671	0	0	△155,671	
合計		7,755,671	5,151,863	5,151,863	△2,603,808	

次年度繰越金	2,666,002
--------	-----------

貸借対照表

2022年3月29日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	20,495	前期積立金	10,520,638
郵便貯金	397,347	次年度繰越金	2,666,002
普通預金	5,417,379		
事務局用普通預金	245,991		
定期預金	7,105,428		
合計	13,186,640	合計	13,186,640

(3) 2021年度監査報告



【決議事項】

第1号議案 新代議員選任(3名)の件

学部から推薦された2021年度卒業生(理学部25期)の新代議員3名の選任が提案され、全会一致で承認された。

- ・物理学科 須藤 愛莉咲 さん
- ・化学科 牧野 健太郎 さん
- ・生物科学科 太田 昌美 さん

第2号議案 2022年度事業計画案の件

以下の2022年度事業計画案が提案され、全会一致で承認された。

1) 会報の発行

同窓会報第26号(通算52号)を2023年1月に発行する。

2) 学部教職員との懇談会の開催

学部教職員との懇談会を2022年7月に開催する。

3) 会員集会援助の継続

同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一趣旨の会への援助は年1回までとする。

4) ホームページの運用

①新しい情報を会員へ提供するため、ホームページを随時更新する。

②SNS(Twitter)での情報提供に関して引き続き検討する。

5) 会員情報の管理

本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を管理・運営する。

なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。

6) 理学部若手教員学術集会への支援

理学部の若手教員主催の勉強会「若手Lab」に対して援助する。なお、この会の活動は、理学部も認知しており、理学部（自己点検・評価委員会）から業績の評価対象になっている。

7) 北里大学同窓会公開講演会（第59回）開催

開催延期になっていた本会担当の北里大学同窓会公開講演会を開催する。

8) 第17回「卒業研究功労賞」の表彰

卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。

9) 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）

卒業記念パーティーに祝い金を持参する。

10) 準会員との連携強化（新規）

新規事業としてサイネージを活用し「理学部同窓会」関連の情報発信を行い、準会員の興味関心を引き、理解を深めてもらう。

11) その他

第3号議案 2022年度収支予算案の件

以下の2022年度収支予算案が提案され、全会一致で承認された。

自2022年4月1日 至2023年3月31日

収入の部

(単位：円)

費目	① 2022年度	② 2021年度	増減(①-②)
学部還元金	4,898,000	5,032,000	△ 134,000
年会費	300,000	300,000	0
会報送料補助	448,000	437,000	11,000
利子	1,000	1,000	0
前年度事業資金	0	0	0
雑収入	0	0	0
積立金戻入	0	0	0
前年度繰越金	2,666,002	1,985,671	680,331
合計	8,313,002	7,755,671	557,331

支出の部

(単位：円)

分類	費目	① 2022年度	② 2021年度	増減(①-②)		
運営費	会議費	総会費	1,000,000	1,800,000	1,650,000	
		理事会費	550,000			
		委員会費	250,000			
	事務局費	事務人件費	1,350,000	1,730,000	1,730,000	
		通信費	50,000			
		物件費	300,000			
		雑費	30,000			
		慶弔費	200,000			
	渉外費	交際費	100,000	300,000	300,000	0
	事業費	集会援助費		200,000	200,000	0
会報発行			1,350,000	1,350,000	0	
就職ガイダンス			0	740,000	△ 740,000	
教職員との懇談会		懇談会費	250,000	250,000	0	
講演会協力費			100,000	100,000	0	
学術集会補助			50,000	50,000	0	
卒業研究功労賞			120,000	120,000	0	
広報費			80,000	60,000	20,000	
準会員支援			500,000	150,000	350,000	
積立金			1,700,000	900,000	800,000	
次年度用事業資金		0	0	0		
予備費		133,002	175,671	△ 42,669		
合計		8,313,002	7,775,671	537,331		

8 質疑応答

渡辺知広代議員（HC30）：個人情報の保護について現状はどのようになっていますか。

回答（秋本理事）：来年の定期総会に向けて準備中です。

渡辺知広代議員：サイネージの利用について現状はどのようになっていますか。

回答（田村副会長）：今のところ学生の利用が多いホールや事務室前などに置いて理学部内に情報を流していくことを検討しています。

書面質問：ツイッターフォロワー数の伸び悩みについて

回答（霜田理事）：強化してまだ間もないので、増えるのはこれからと思われます。

リツイートよろしくお願ひします。

石原稔代議員（HC32）：会費納入率向上についてどのような対策をされているか。

回答（蓮沼副会長）：準会員の方々に対してサイネージの活用などでコンタクトを強くして魅力のある同窓会にすることで、将来的に会費を納入していただける環境づくりに努力します。

※総会終了後、理学部から真崎康博学部長、小寺義男物理学科長、石川春樹化学科長、太田安隆生物科学科長（兼 就職指導委員長）ならびに浅沼寿郎事務長に出席いただき、学部・各学科・就職・事務室などの近況について報告していただきました。



定期総会の様子1



定期総会の様子2

理学部教職員との懇談会 開催報告

SP8 松本 俊英

2022年12月8日に相模原キャンパスのS号館1階大会議室にて、理学部教職員との懇談会を執り行いました。コロナ禍で中止を重ね、気づけば3年ぶりの開催となりました。当日は感染拡大防止のため、理学部教職員は学部長と各学科長および事務長にご出席賜り、本会からは正副会長4名と記録係として私が参加致しました。

この3年間の大きな変化として、まず、理学部長は真崎康博先生（化学科教授）から川崎健夫先生（物理学科教授）へ交代された。また、本会も沼上会長から甲斐会長へそれぞれ交代したことを報告しました。また、事務室も昨年度から浅沼寿郎事務長が着任されました。それぞれ体制は変わったものの、各前任者が絆を構築して頂いたおかげで、今後について滞りなく話し合いをすることができました。

本会は今年度から、就職ガイダンスの代わりの新規事業として、デジタルサイネージの運用を開始することとなりました。デジタルサイネージの活用方法は、本会の活動報告やイベント情報の発信、OBOGによる就職支援等を見込んでおり、準会員である在学生が充実した学生生活を送れるよう、理学部同窓会が強く支援することを目的としております。理学部教職員としても、ES作成や面接対策以外にも、インターンシップや内定後の相談事案も多く、さらには自分の将来像がイメージしやすくなる点で、在学生と同窓会関係者・卒業生が双方向に繋がることを考えて下さいました。またそれを受

け、本会としても、デジタルサイネージの更新頻度、さらにはTwitterやホームページを充実させていくことを約束させて頂きました。改めまして、デジタルサイネージの設置に関しまして快く承諾頂き御礼申し上げます。

本来であれば、懇親会で意見交換等を含め実施したかったところです。しかし、対面で実施できたことにより、充実した議論を展開することができました。年末でご多用の中、お時間をつくって頂きました理学部教職員の方々に御礼を申し上げるとともに、理学部のさらなる発展のために、卒業生として様々な形で貢献していきたいと再認識致しました。



教職員との懇談会の様子



集合写真

活躍する同窓生

HC19 八井田文子

2022年7月30日、横浜市地区センターにて、田村啓氏(SB4)による「小学生からの生物講座」と題し、夏の講座を開催いたしました。

6月からの申し込みにも多数の応募と問い合わせがあり、楽しみに待たれている方がいる中で行われました。

この講座は昨年にも開催いたしましたが、当初子どもだけの参加としていました。親子で参加の要望がありまし

たので、今回から親子参加といたしました。

今回のテーマは「身近な食べ物のDNAを取り出してみよう」バナナのDNA抽出実験をいたしました。親子参加で、皆さん楽しんで実験をされていました。保護者の中には、小学生以来の実験に子どもさん以上に真剣に取り組んでいた方もおられました。

質疑応答も活発にされ、充実した講座となりました。



第59回北里大学同窓会公開講演会について

HC11 蓮沼 良一

この度、理学部同窓会は標記の公開講演会を担当いたします。テーマは、「日本人のバイオニア魂～持続可能な社会“SDGs”の実現のために～」で3つの講演になります。

日時は、2023年2月11日(土)14:00～16:30(開場は13:30)、場所は、ユニコムプラザさがみはら(ポーノ相模大野サウスモール3階、小田急線相模大野駅北口より徒歩3分)で定員は80名(事前申し込み不要、先着順)、参加費無料です。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から入場時の手指のアルコール消毒とマスク着用をお願いいたします。なお、発熱や体調不良の方の入場はお断りいたします。

講演1は、第57次南極地域観測隊の調理隊員とし

て活躍された「悪魔のおにぎり」の考案者でもある渡貫淳子氏にフードロスのお話をお願いいたします。

講演2は、北里大学医療衛生学部微生物学教授の久保誠氏に新型コロナウイルス感染症についてのお話をお願いいたします。

講演3は、北里柴三郎記念室元事務長の森孝之氏に「伝染病との戦い。近代国家造りと衛生について」で新千円札に北里柴三郎先生の肖像が入るまでのお話をお願いいたします。

お問い合わせ：北里大学理学部同窓会事務局

F A X : 042-778-9032

E-mail : info@kitasato-rigaku-d.jp

理学部事務室より

● 2023年オープンキャンパス開催情報(未定)

日程は決まり次第、理学部HPに掲載します(新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法が変更あるいは中止になる場合があります)。

各研究室、実験室を開放し様々な展示及び体験型実験教室を開催します。

● 2023年進学相談会

○入試対策講座・進学相談会開催情報(未定)

日程は決まり次第、理学部HPに掲載します(新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法が変更あるいは中止になる場合があります)。

学部別入試対策講座および各学科の教員による個別相談を実施します。個別相談では、授業内容や就職先など様々な質問にお答えします。

○北里祭・進学相談会開催情報(未定)

日程は決まり次第、理学部HPに掲載します(新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法が変更あるいは中止になる場合があります)。

模擬講義・個別相談を実施します。期間中は北里祭も同時開催されます。

● 入試過去問題

北里大学ホームページ受験生サイト (<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/goukaku/index.html>) に掲載されています(2022年度入試過去問題集はお問い合わせいただければお渡しすることも可能です)。

● 教材の貸し出しについて

肉眼で観察ができ生徒の興味を惹く素材として好評をいただいておりますニワトリ胚標本・透明骨標本セットの貸し出しは、梱包作業や移送中における破損の危険性を鑑み、2023年度よりひとまず貸し出しを中止させていただきます。

当面はオープンキャンパスにおいて展示いたしますので、ぜひ相模原キャンパスにご来場ください。また教員となられた卒業生の皆様、生徒へも周知していただきますと幸いです。



● ハーバード大学との国際交流

理学部では、夏にハーバード大学との国際的な視野を備えた研究者の育成を目指す国際交流プログラムがあります。このプログラムは2009年度から派遣・招聘を隔年で実施していますが、ここ数年は残念ながら新型コロナウイルス感染拡大の影響により対面での交流を行うことができない状況となっています。

しかしながら対面での交流に代わり、現地の先生方によるオンライン講義(オンデマンド)や臨場感あふれるオンライン(Zoom)質疑応答会を開催し、今年度は47名の学生が参加しました。

● 求人情報をお寄せください

本学部の就職状況については、理学部同窓会のご支援もあり、毎年100%近い就職率を維持しておりますが、昨今の経済状況を鑑みると決して楽観出来る状況ではありません。学生たちは学業の傍ら、厳しい就職活動をくぐり抜けなくてはなりません。そこで、同窓会の皆様におかれましては、益々のご支援、ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

求人票の学生への周知や、学内での企業説明会のご要望などを随時承っております。

● 理学部公式Twitter

理学部の入試情報や、物理学科・化学科・生物科学科の最新情報・イベント情報などを発信していますので、ぜひご覧ください。



● 物理学科模擬授業

主に神奈川県、東京都の高等学校を対象に、5つのテーマを用意し出張模擬授業を実施しております。

詳しくは、北里大学理学部 物理学科 スペシャルホームページ (https://www.kitasato-u.ac.jp/sci/resea/buturi/phys_sp/) をご参照ください。



お問い合わせ先

理学部入試に関すること

TEL 042(778)9172 (入試係直通) FAX 042(778)9953

就職に関すること

TEL 042(778)8545 (学生課直通) FAX 042(778)9953

大学院入試に関すること (理学研究科入試係直通)

TEL 042(778)9083 FAX 042(778)9953

【就職情報・求人票ご提供のお願い】

北里大学就職センターでは、各企業・機関から受領した貴重な求人情報は、「進路支援システム」（本大学学生用就職情報公開サイト）に一括掲載し、全キャンパスの学生がWebで閲覧できるシステムになっています。

同窓会の皆様から是非、後輩のために求人情報等を就職センターにご提供ください。手続きにつきましては、本学ホームページ「資格・就職」から「求人受付NAVI」（企業登録手続きがあります）を通じ求人情報を入力することができますし、ご郵送・FAX・E-mailでも受付けております。

卒業後に転職・就職を希望している方も既卒者専用「進路支援システム」がご利用できます。ご利用頂く場合には、下記①～⑤の情報を就職センターまでメールでお送りください。折り返し既卒者専用ID・パスワードをお知らせいたします。（在学時のID・パスワードは使用できませんので、ご注意ください。）

メール件名：進路支援システム利用希望

メール本文：①氏名 ②卒業時の学部・学科・専攻 ③卒業年月 ④学籍番号 ⑤システム利用の理由（例：転職等）

【北里大学 就職センター】 TEL 042-778-9745
E-mail syusyoku@kitasato-u.ac.jp

同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【同期会や研究室の同窓会を開催予定の方へ】

理学部同窓会では、正会員が同期会や研究室の同窓会（以下、同期会等という）を開催される場合に、当該名簿リストやタックシールの提供、それに通信費用の援助を行う事業を行っています。加えて、平成29年より同期会等の開催を本会ホームページに掲載するサービスを新たに開始しておりますので、是非本制度をご活用下さい。詳しくは理学部同窓会のホームページ（<https://kitasato-rigaku-d.jp/>）をご覧ください。

【理学部パンフレット同封について】

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。

【同窓会へのメールについて】

近年、迷惑メールが増加しております。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載下さいますようお願い申し上げます。

＜卒業年または卒業期、卒業学科、氏名＞

記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または
HC6 理学太郎

【会報への寄稿について】

同窓会会報は年に1度の同窓生との交流の場です。皆さまの近況報告や同期会のお知らせ、大学時代の思い出などをお気軽に寄稿下さい。同時に、会報へのご意見もお寄せいただければと思います。

編集後記

同窓生の皆さまこんにちは。化学科3期生の中野(旧姓鈴木)章代です。理学部同窓会報第26号をお届け致します。ご寄稿いただきました方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。昨年に引き続き、同窓生からの報告記事が少なく、お詫び申し上げます。ご寄稿いただける数もだいぶ減っている状況です。もしご自身の近況を同窓生にお知らせしたいという方がいらっしゃいましたら、是非原稿をお送りください。また同窓会報につきまして、ご意見ご感想がありましたら事務局までお寄せください。

さて、本会主催の北里大学同窓会公開講演会が2023年2月11日(土)ユニコムプラザさがみはらにて開催されます(裏表紙参照)。今回は日本人のパイオニア魂というテーマで3名の演者にご講演いただきます。“悪魔のおにぎり”、そのフレーズとイラストに私も何度も手に取った商品です。その開発者が南極地域観測隊だったなんて！新型コロナウイルスについては、やはり今どうなの？と皆さま気になるころでしょうか。そして、北里柴三郎先生のお話は卒業生としては聞いておきたいところですね。どれも興味深いお話しが聞けそうです。是非お近くの方はご参加いただけたら幸いです。

生物科学科分子生物学講座 高松信彦教授 退任記念講演会開催予定

日時、場所、演題等は未定です。
詳細が決まりましたら理学部同窓会のHPに掲載しますので随時ご確認ください。

北里大学理学部同窓会報

発行 2023年1月31日
発行者 北里大学理学部同窓会
〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032
E-mail : info@kitasato-rigaku-d.jp
責任者 甲斐恒人

第59回 北里大学同窓会公開講演会

日本人のパイオニア魂

～持続可能な社会”SDGs”の実現のために～



日時

2023年

2月11日(土) 14:00～16:30(開場13:30)

対象:どなたでも参加できます

定員:80名(先着順)

参加費 無料
事前申込 不要

※マスク着用でのご参加をお願い致します

【講演1】

「悪魔のおにぎり」考案者が語るフードロス

第57次南極地域観測隊 調理隊員

渡貫淳子

【講演2】

新型コロナウイルス感染症の現在

～北里大学の取り組み～

北里大学医療衛生学部微生物学 教授

久保誠

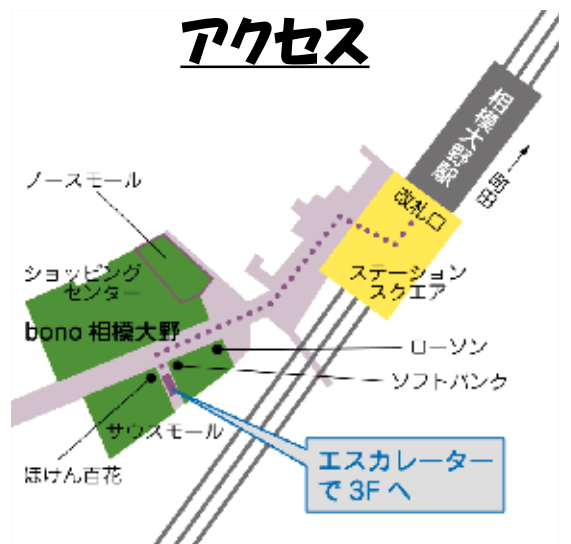
【講演3】

伝染病との戦い。近代国家造りと衛生について

北里柴三郎記念室 元事務長

森孝之

アクセス



場所

ユニコムプラザさがみほら セミナールーム2

ボノ相模大野サウスモール3階 小田急線「相模大野」駅北口より徒歩3分

お問合せ: 北里大学理学部同窓会事務局

FAX: 042-778-9032

E-mail: info@kitasato-rigaku-d.jp

